

## 製品・技術 PR レポート

## 1. 企業概要

会社名	株式会社ケンテック		代表者名	川端 健一			
			窓口担当	川端 健一			
事業内容	金属表面処理加工、熱処理加工		URL	<a href="http://www.kentech.co.jp">http://www.kentech.co.jp</a>			
主要製品	超硬質セラミック被膜「ファインコーティング」						
住所	〒574-0052 大阪府大東市新田北町1-5						
電話/FAX 番号	072-874-6662/072-875-2705		E-mail	info@kentech.co.jp			
資本金(百万円)	3	設立年月日	平成 11 年 2 月	売上(百万円)	180	従業員数	13

## 2. PR事項

## 『密着性を大きく改善した、画期的なセラミックコーティング技術』

当社は、(有)ファインテックの表面処理部門として独立した会社です。(有)ファインテックでの長年の熱処理技術と真空技術そして表面処理技術を駆使し、画期的なセラミック硬質被膜ファインコーティングを開発しました。ファインコーティングは、耐久性・耐摩耗性・耐焼き付け性・耐酸化性に優れた効果が期待できます。これにとどまらず、当社はコーティング技術のパイオニアとして更なる表面処理を開発していきます。

## ＜新開発ファインコーティングHD (Hybrid Diffusion) 紹介＞

## ●優れた技術

溶融塩\*を用いたセラミックコーティング技術で、液相から固相への拡散により密着性の高い炭化物皮膜を生成させ、優れた形状追従性を有し、穴の中や三次元形状にも均一に成膜することが出来ます。

当社は設立以来、この溶融塩にこだわり、研究開発を続けています。

\*溶融塩法とは、液相でのセラミックコーティング技術で、熱化学反応によって炭化物や窒化物、ホウ化物を生成させる表面処理技術です。鉄鋼材料の表面処理方法の中では、非常に硬く密着性の高いセラミック被膜を生成できる方法です。  
(特許出願中：特願 2009-07055、特願 2009-072073)

## ●特徴

真空浸炭法により材料内に余分に炭素を供給し、硬度もあげることで密着性を大きく改善しています。通常のCVDよりも低温で生成させるため、クラックのない緻密な炭化物被膜が形成できます。

## ●ハイテン（高張力鋼板）材プレス加工の焼付き防止に、新しい提案！

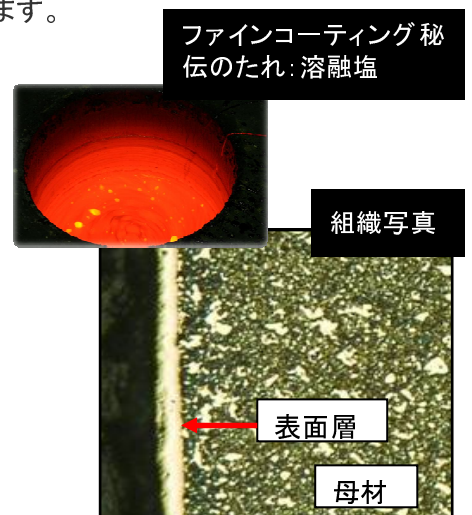
ハイテン材のプレス加工時に現れるセラミック被膜直下からの剥離を抑制するため、密着性を大きく改善した処理です。通常のCVDやTDプロセスでも剥離が生じるような場合に、是非ご検討下さい。

## ●用途に適した被膜を用意

・VC(炭化バナジウム被膜、優れた耐摩耗性と耐焼き付け性) ・ナノ(1μm以下のコーティング：特許4773486、膜厚1ミクロン以下に薄く制御) ・CrC(炭化クロム被膜、高温での安定した性質、耐酸化性、耐食性) ・FeB、CrB(ホウ化層、土砂摩耗などのエロージョン対策)

## 3. 特記事項（期待される応用分野等）

- 平成 18 年 経済産業省『戦略的基盤技術高度化支援事業』に採択され、上記技術を開発
- 平成 24 年 ファインコーティングナノが経済産業省近畿経済産業局『関西ものづくり新撰』に選定



母材の表面層に炭素量を余分に供給